

信用事業中堅職員研修（問題発見力編）

研修目的・ゴール等	信用事業部門の中堅職員として、職場のリーダーに必要なコアスキル（問題発見力・仮説構築力）を活用し、業務が実践できるようになる
想定受講対象者	信用事業部門の中堅職員（採用後5年程度以上）
適正人数	推奨：20名（上限：25名まで）
研修日程	2日 ※信用事業中堅職員研修は、各々独立した2日間の3研修で構成されているが、単独研修も対応可（1日目9：30～16：30、2日目9：30～16：30）
研修講師	産能大

【研修プログラム(1日目)】

		10	11	12	13	14	15	16	17
研修内容	開講挨拶	講義（演習含む） ・複眼的思考の技術 ・現場のあたりまえを疑う	*適宜休憩	（昼食）		講義（演習含む） ・フィールドワークの技術 ・現場を観察し仮説をつくる	*適宜休憩		閉講挨拶
時間	10	140		60		205			5

【研修プログラム(2日目)】

		10	11	12	13	14	15	16	17
研修内容	開講挨拶	講義（演習含む） ・フィールドワークの技術（続き） ・現場を観察し仮説をつくる	*適宜休憩	（昼食）		講義（演習含む） ・仮説の確からしさを検証する	*適宜休憩		まとめ・閉講挨拶
時間	5	145		60		195			15

事前課題	あり	◇事前課題テキストの読み込み ※事前課題テキストは受講者へ事前に配布し、受講者は研修当日も持参する
事後課題	なし	

★ 本研修プログラムは、研修ゴールの達成に向けて、必要と認識した時間配分例。研修の開始時刻・終了時刻は、県域の実状等に応じて、適宜変更されたい。
★ 研修時間を延長する場合は、事前に講師と調整のうえ、適宜講義・ワーク等の拡充を検討されたい。一方、研修時間の短縮については、研修効果が低下するため推奨しないが、事情により短縮する場合は、原則30分以内までとし、事前に講師と調整のうえ、短縮を検討されたい（不明な場合等は、NCAまでご照会願いたい）。